

一 般 質 問



町民のみなさんの生活を、より良いものにするため、町に対して質問を行いました。主な内容をお知らせいたします。

- P6 …… 太田 祐介
- P7 …… 平田 要、中西 顕治
- P8 …… 奥 久明、井上加奈子
- P9 …… 岡本ひとし、難波希美子

一 般 質 問



太田 祐介

地域おこし協力隊

問 2名の地域おこし協力隊が能勢町に着任して約1年。それぞれの隊員の活動内容を問う。

答 1名は里山資源の次世代継承や担い手養成を目的とする塾の企画・運営や地域資源の未利用資源を活用した特産品の研究を取り組んでいる。

もう1名は、公共施設における節電・省エネ対策の提案に加え、環境学習イベントの企画等に取り組んでいる。

問 任期満了後も能勢町に留まっていたかどうかについては準備が必要。町の考えを問う。

答 できる限り隊員の考

問 敷地の部分使用の可

能勢町の地域振興について、ソフトとハードをいかに有効活用していくか

えや意向を尊重しつつ、能性を問う。

答 今後の施設の利活用を制限しないようであれば、部分使用についても検討に値するものであると認識している。

問 境界確定や、除却の計画をたてる順位付けを問う。

答 過去に企業から引き合いの多かったところから順に予算の範囲で取り組んでいく。

問 民間企業が制度を活用したいと申し出があった場合の対応を問う。

答 現在のところ、企業研修型地域おこし協力隊の活用は考えていない。制度活用の要件として、地域の資源、課題を解決するような取組みにつながるものであればという認識である。

問 学校の跡地活用

